

和歌の研究者、小林一彦先生が紐解く平安歌人の歌と人生。
第二弾は一条帝の中宮定子とその母のこころの裏に迫ります。

続 紫式部と王朝の歌人たち

～中宮定子とその母・高階貴子

●講師：京都産業大学教授 小林一彦

権勢をほしいままにした関白兼家を祖父に、その嫡男である関白道隆を父に、生を受けた定子。一条天皇に誰よりも愛された女性でした。母の貴子は和漢に通じ、百人一首にも名歌を残す才媛でした。長兄伊周も才気煥発、一族の前途は洋々、順風満帆のはずでしたが。王朝の光と影を映す、母と子の物語です。



講師プロフィール

和歌文学会常任委員、全国大学国語国文学会代表委員、文学風土学会常任理事などを歴任。100分de名著ブックス『鴨長明 方丈記』（NHK出版）、日本歌人選『鴨長明と寂蓮』（笠間書院）など編著書、論文多数。研究活動のほか、テレビ・ラジオ出演多数、新聞や雑誌の連載、コラムなどでわかりやすく古典の魅力を説く活動にも力を入れています。

この講座の収益金の一部を、冷泉家・北の大蔵新築工事費用に寄付します

京都御所の北、今出川通に南面した冷泉家住宅は完全な形で現存する唯一の近世公家屋敷です。同家伝来の典籍・古文書類は国宝の『古今和歌集』、『明月記』をはじめ、和歌に関するものを中心に数万点にのぼり、日本文学、文化史上に重要な役割を果たしてきました。この4月には定家直筆とされる『顕註密勘』発見のニュースが注目を集めました。冷泉家には、これらの貴重な文化遺産を収めている土蔵がありましたが、そのうち3棟は朽ちてしまったので、収蔵品はプレハブに仮置きされていました。ところが平成30年の台風により屋根が破損してしまい、元のように蔵を新築し、周辺の整備をすることが緊急課題となっています。それにはおよそ2億円の工事費用が必要です。冷泉家の祖、藤原定家が残した写本によって、現代の私たちも平安王朝の優れた文学作品に触れ、読み味わうことができます。創企舎ソフィでは、当講座を企画するにあたり、定家卿へ感謝と尊敬の思いをこめて皆様から頂く受講料の一部を冷泉家・北の大蔵新築工事費用寄付金として「公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫」へお送りします。どうぞご受講とともに貴重な文化財保護継承にご協力ください。

●日 時： 2024年7月19日（金）

14:00～15:30

●受講料：3,500円

お申し込み方法 052-684-5894 (tel, fax)

ご予約のうえ、下記口座にお振込み下さい。
三菱UFJ銀行 栄町支店 普通預金口座
0160603 名義：ソフィソフイ
または当日ご持参ください。

お申し込み・お問い合わせは



創企舎 ソフィ

460-0007 名古屋市中区新栄2-6-13
Tel/Fax 052-684-5894 (直通090-8474-6363)
Email: soukisha-sophy@gd5.so-net.ne.jp
URL: http://s-sophy.com

創企舎ソフィ

検索

会場案内図

IMY (アイエムワイ) ビル会議室

〒461-0004 名古屋市中区葵3-7-14

地下鉄東山線「千種」駅①番出口徒歩2分

地下鉄桜通線「車道」駅③番出口徒歩1分

JR「千種」駅徒歩5分（メルパルク北隣）

